

調査票見本

A 高齢者一般調査

「京都市民長寿すこやかプラン」見直しのための
高齢者の生活と健康に関する調査のご協力をお願い

このたび、京都市では「高齢者の生活と健康に関する調査」を実施することになりました。

この調査は、高齢者の方々が健康で安心して暮らすことができる長寿社会の実現に向けて、「京都市民長寿すこやかプラン」(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画)を見直すための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進めるうえで参考とさせていただきます。

対象となられる方は、市内にお住まいで、介護保険制度の要介護(要支援)認定を受けておられない65歳以上の方(平成19年11月1日現在)の中から、無作為に選んだ4,000人の皆様です。

お答えいただいた内容は、統計の目的のみを利用し、皆様には不利益のないよう秘密の保持には万全を期しております。

時間帯、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成19年12月
京 都 市

- ご返送いただく期日
ご記入後、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま、
平成19年12月28日(金)までにご返送くださいますようお願いいたします。
(切手は不要です。)

- 調査に関するお問い合わせおよび送付先
京都市保健福祉局長寿社会部長寿福祉課 (担当：基永、平由)
電話：(075)251-1106

- 1 -

■ ご記入上のお願い

1. この調査票は、原則として、宛名のご本人がお答えください。健康状態などにより、ご本人によるお答えができない場合のみ、ご本人の状況がわかるご家族の方が、ご本人の意思を確認しながらご記入いただくか、ご本人の立場に立ってご記入ください。
2. 質問文中の「あなた」とは、宛名のご本人のことを指しています。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いいたします。
4. この調査票の回答は、あくはまるものに○をつけていただくものと、横線回答していただくものがありますので、質問に従ってお答えください。

<記入例>

① はい 2 いいえ (どちらかに○)

← 「はい」と回答する場合

「京都市民長寿すこやかプラン」(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画)とは

本市では、高齢者施策を総合的に推進するため、平成18年3月に「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に見直すとともに両計画の融合を「第3期京都市民長寿すこやかプラン」としています。

高齢者保健福祉計画は、要介護者への介護サービスの提供のほか、寝たきり、認知症等の予防のためのサービスの提供、ひとり暮らしの高齢者への生活支援、元気な高齢者への健康づくりやいきがいきがいきづくりも含め、地域における高齢者を対象とした保健サービスや福祉サービス全般にわたる供給体制づくりなどについて定めたものです。

介護保険事業計画は、地域における介護サービスの必要量を見込み、それを確保するための方策や介護保険料算定の基礎となる財政規模のほか、介護保険を円滑に運営するために必要な事業などについて定めたものです。

※ プランの計画期間は、平成18年度から20年度までの3年間ですが、平成20年度に見直すことになっています。

- 2 -

■ このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。(○は1つ)

- 1 宛名のご本人
- 2 ご家族(ご本人との密着)
- 3 その他(具体的に:)

■ ご本人がアンケートに回答できない理由をお答えください。(○は1つ)

- 1 病院に入院中
- 2 介護施設施設に入院(入院)中
(特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養病床など)
- 3 病气やけが
- 4 物忘れがあり、意志疎通が時々難しい
- 5 認知症のため意志疎通がいつも難しい
- 6 障害(身体障害、知的障害など)
- 7 別居・転居
- 8 答えたくない
- 9 その他(具体的に:)

問1 あなた(宛名のご本人:以下の間も同じ)の年齢は。(○は1つ)

- 1 65~69歳
- 2 70~74歳
- 3 75~79歳
- 4 80~84歳
- 5 85歳以上

問2 あなたの性別は。(どちらかに○)

- 1 男性
- 2 女性

問3 あなたがお住まいの地区は。(○は1つ)

- 1 北区
- 2 上京区
- 3 左京区
- 4 中京区
- 5 東山区
- 6 山科区
- 7 下京区
- 8 南区
- 9 右京区
- 10 西京区
- 11 洛西支所
- 12 伏見区
- 13 深草支所
- 14 醍醐支所

問3-2 あなたがお住まいの地域は、次のどれに最もよくあてはまりますか。(○は1つ)

- 1 京町家など昔のまちなみが残る住宅街
- 2 比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街
- 3 昭和40年代以降の開発によって造られたニュータウン
- 4 商店街や企業などが多くある商業地域
- 5 比較的工場が多くある工業中心の地域
- 6 田畑が広がる農業地域
- 7 人口が少なく、交通の不便な山間・過疎地域
- 8 その他(具体的に:)

問4 あなたの現在の住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- 1 持家(一戸建て)
- 2 持家(分譲マンション)
- 3 民間賃貸住宅(一戸建て)
- 4 民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)
- 5 公営住宅
- 6 社宅・官舎
- 7 間借り・住み込み
- 8 その他(具体的に:)

問4-2 お住まいの状況についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

- 1 住宅が狭い
- 2 住宅が古くなくなった/いたりんだりしている
- 3 家の中の階段が急である/手すりがついていない
- 4 共用部分の階段が急である/手すりがついていない
- 5 エレベーターが設置されていない(2階以上にお住まいの方)
- 6 家の中に大きな段差がある
- 7 立ち退きを迫られている
- 8 その他(具体的に:)
- 9 特に問題はない

問5 あなたの現在の主な収入源は、どれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分が働いて得る給与
- 2 公的な年金 (国民年金・厚生年金・共済年金など)
- 3 遺給
- 4 私的な年金 (企業年金・個人年金など)
- 5 預貯金の引出し
- 6 貸家などの賃貸収入や利子・配当金などの収入
- 7 同居家族の収入
- 8 子どもなどからの援助
- 9 生活保護
- 10 その他 (具体的に:)

問5-2 あなたの年間総収入 (年金なども含め、税込み) はどれぐらいですか。(○は1つ)

- 1 50万円未満
- 2 50万円以上100万円未満
- 3 100万円台
- 4 200万円台
- 5 300万円台
- 6 400万円台
- 7 500万円台
- 8 600万円台
- 9 700万円以上

問6 ご家族の状況について、お答えください。(○は1つ)

※ この問では、ご本人の配偶者の方も、「あなた」に含めてお答えください。

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦のみ (2人ともに65歳以上)
- 3 夫婦のみ (2以外の夫婦世帯)
- 4 兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)
- 5 兄弟姉妹のみ (4以外の兄弟姉妹世帯)
- 6 あなたと親 (具体的に:)
- 7 あなたと子供 (二世代同居)
- 8 あなたと子供と孫 (三世代同居)
- 9 あなたと親と子供 (三世代同居)
- 10 その他

副問 【「1」以外に○をつけた方におたずねします。】

(1) あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(○は1つ)

- 1 ほとんどない
- 2 とときある
- 3 いつもひとりきりである

(2) あなたは、夜間、ひとりきりになることがありますか。(○は1つ)

- 1 ほとんどない
- 2 とときある
- 3 いつもひとりきりである

問7 この半年ぐらいたの間で、心身の状況に変化がありましたか。(1)～(11)のそれぞれについて、どのように変化したかを1つずつお答えください。

※ 選択肢の中には、あなたの状態にそぐわないものもあるかもしれませんが、調査結果の分析上必要なため、介護保険サービスを利用されている高齢者の方と共通した質問内容となっておりますのでご了承ください。

(1) 外出の回数についてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 変化なし
(2) 人としゃべることについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 変化なし
(3) 寝つきや眼りの深さについてはどうですか	1 よくなった	2 悪くなった	3 変化なし
(4) 体重の増減についてはどうですか	1 増えた	2 減った	3 変化なし
(5) 活動意欲についてはどうですか	1 意欲が出てきた	2 意欲が低下した	3 変化なし
(6) 身の回りのこと (片付けなど) についてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできるなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(7) 歩くことについてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできるなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(8) 起き上がることについてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできるなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(9) いことについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 以前からない又は変化なし
(10) 食べ物を噛むことについてはどうですか	1 うまく噛めなくなった	2 うまく噛めるようになった	3 以前から噛める又は変化なし
(11) 不意に尿がもれることについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 以前からない又は変化なし

問8 あなたの日ごらの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1 とても健康だと思ふ
- 2 まあ健康だと思ふ
- 3 あまり健康ではないと思ふ
- 4 健康ではないと思ふ
- 5 どちらとも言えない

問9 あなたは、普段から診察を受けたり、日常の健康についての相談や指導を受けることのできる、かかりの深い「かかりつけ医」などを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 かかりつけ医
- 2 かかりつけ診療室
- 3 かかりつけ薬剤師
- 4 持っていない

問 10 家の中での日ごとの状況についておたずねします。(1)～(5)のそれぞれに
 ついて、1つずつお答えください。(ふだん、つえや車イスなどを使用してい
 る方は、それを使用した状態でお答えください。)

(1)	食事をとることに ついてはどうですか	1 手助けなしで できる	2 おかずを自分で もらうなど、一部 手助けが必要	3 全面的に人の手 を借りない けない
(2)	排せつ(トイレ)に ついてはどうですか	1 手助けなしで できる	2 便器に座らせても らうなど、一助手 助が必要	3 全面的に人の手 を借りない けない
(3)	着替えについて はどうですか	1 手助けなしで できる	2 そでを通してもら うなど、一助手 助が必要	3 全面的に人の手 を借りない けない
(4)	入浴について はどうですか	1 手助けなしで できる	2 身体を洗って もらうなど、一 助手助が必要	3 全面的に人の手 を借りない けない
(5)	洗顔、歯みがき、ひげ そりなどの身だしなみ についてはどう ですか	1 手助けなしで できる	2 タオルで顔をふい てもらうなど、 一助手助が必要	3 全面的に人の手 を借りない けない

問 11 ふだんの生活の様子についておたずねします。(1)～(13)のそれぞれに
 ついて、「1 はい」「2 いいえ」のどちらか1つをお答えください。

(1)	バスや電車を使って、ひとりで外出が できますか	1 はい	2 いいえ
(2)	日用品の買い物 ができますか	1 はい	2 いいえ
(3)	自分で食事の用意が できますか	1 はい	2 いいえ
(4)	請求書の支払いが できますか	1 はい	2 いいえ
(5)	銀行預金・郵便貯金の 出し入れができますか	1 はい	2 いいえ
(6)	年金などの書類が 書けますか	1 はい	2 いいえ
(7)	新聞を読んでいますか	1 はい	2 いいえ
(8)	本や雑誌を読んでいますか	1 はい	2 いいえ
(9)	健康についての記事や 番組に関心がありますか	1 はい	2 いいえ
(10)	友人の家を訪ねることが ありますか	1 はい	2 いいえ
(11)	家族や友人の相談にの ることがありますか	1 はい	2 いいえ
(12)	病人を見舞うことが できますか	1 はい	2 いいえ
(13)	若い人に自分から話しか けることができますか	1 はい	2 いいえ

問 12 この1年間(平成18年12月～平成19年11月まで)に入院した
 ことがありますか。(どちらかに○)

1 ある(現在、入院中も含む)	2 ない
-----------------	------

問 13 現在治療(投薬を含む)を受けている病気がありますか。(あてはまるもの
 すべてに○)

1 高血圧症	11 糖尿病
2 高脂血症	12 腰痛、膝痛などの病気
3 心臓病(心筋梗塞、狭心症など)	13 眼の病気
4 脳血管疾患(脳梗塞、脳出血など)	14 耳、鼻の病気
5 呼吸器系疾患(喘息、肺炎など)	15 精神疾患
6 結核	16 歯の病気
7 消化器系疾患	17 その他 (具体的に:)
8 泌尿器系疾患	18 特になし
9 腎臓病	
10 肝臓病	

問 14 あなたは、この1年間(平成18年12月～平成19年11月まで)に転んでケガ
 をしたことがありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない	3 該当しない(寝たきり等のため)
------	------	-------------------

問 15 あなたは酒、ビールなどのアルコールを飲みますか。(○は1つ)

1 ほとんど毎日飲む	4 たまに飲む(つきあい程度)
2 週3～5日は飲む	5 飲まない
3 週1～2日は飲む	

問 16 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)

「1 吸っている」と答えられた方は1日の本数もお答えください。

1 吸っている	2 以前は吸っていたが今はやめた
↓(1日に約()本)	3 吸ったことがない

問 17 あなたは現在、収入になる仕事をしていますか。(どちらかに○)

1 仕事をしている	2 仕事をしていない
-----------	------------

副問 【「1」に○をつけた方におたずねします。】現在のお仕事をお答えください。

(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 商工自営業主 | 5 常勤の勤め人 |
| 2 農林水産業自営業主 | 6 臨時・日雇い・パート |
| 3 家族従業 | 7 内職 |
| 4 会社・団体の役員 | 8 その他(具体的に:) |

問 18 あなたは、隣近所の人との程度お付き合いをしていますか。(○は1つ)

1 因った時に助け合う	3 顔を合わせばあいさつする程度
2 世間話や立ち話をする程度	4 付き合いをしていない

問 19 あなたは、大規模な火事や地震などの災害時に、避難が必要となった場合、誰に援助を求めますか。(あてはまるものすべてに○)

1 ひとりや避難できる
2 一緒に住んでいる家族
3 その他の家族・親戚
4 友人
5 隣近所の人
6 地域の自主防災組織
7 民生委員や老人福祉員
8 かかりつけの医師
9 福祉事務所
10 その他(具体的に:)
11 援助してくれる人がいない

問 20 あなたが、急病などにより入院しなければならぬ場合、どうしますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 家族や親せきに連絡して対応してもらおう
2 かかりつけの医師に連絡して対応してもらおう
3 できるだけ隣近所に手助けを求めよう
4 民生委員や老人福祉員、町内会の役員に対応してもらおう
5 福祉事務所に連絡して対応してもらおう
6 消防(救急)に連絡して対応してもらおう
7 その他(具体的に:)
8 付き合いが少ないので、連絡する人がいない

問 21 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できるところはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親類
2 隣近所の人
3 知人・友人
4 民生委員や老人福祉員
5 かかりつけの医師
6 ケアマネジャー(介護支援専門員)
7 地域包括支援センター
8 京都市長寿すこやかセンター
9 福祉事務所
10 社会福祉協議会
11 その他(具体的に:)
12 特にいない

問 22 あなたは、あなたの地域の町内会長(自治会長)の名前及び顔を面方とも知っていますか。(○は1つ)

1 両方とも知っている
2 名前又は顔だけ知っている
3 まったく知らない

問 23 あなたは、あなたの地域の民生委員の名前及び顔を面方とも知っていますか。(○は1つ)

1 両方とも知っている
2 名前又は顔だけ知っている
3 まったく知らない

問 24 あなたは、あなたの地域の老人福祉員の名前及び顔ぶりを両方とも知っていますか。
(○は1つ)

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 25 あなたは現在、どのような活動に生きがいを感じますか。次の中からあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 趣味や娯楽のサークル活動
- 2 学習や教養などを身につける活動
- 3 健康づくりやスポーツ活動
- 4 地域の団体や行事への参加
- 5 社会奉仕活動
- 6 若い世代との交流
- 7 旅行
- 8 その他(具体的に:)
- 9 他にない

問 26 あなたはふだん、仕事、買い物、散歩、通院、趣味活動などでのくわいらい外出していますか。(○は1つ)

- 1 毎日
- 2 週に5～6日
- 3 週に3～4日
- 4 週に1～2日
- 5 月に1～3日
- 6 ほとんど外出しない

問 27 あなたは日ごろ、ご自分の心身の変化(足腰のおとろえ、氣力がわかず何もしなくなるといった)に氣を配り、早目に改善しておられますか。(○は1つ)

- 1 日ごろからよく氣をつけて、改善に取り組んでいる
- 2 氣をつけてはいるが、適切に対応できているかわからない
- 3 あまり氣をつけていない
- 4 まったく氣をつけていない

問 28 介護予防とは、元気な高齢者がなるべく要介護状態にならないように、そして、介護が必要な人も、それ以上悪化させないようにする取組です。
このことについて、あなたはご存知ですか。(○は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 ある程度は知っている
- 3 聞いたことはある
- 4 まったく知らない

※ 介護予防とは、身体的には足などの筋力低下や低栄養、食べ物を噛んだり飲んだりする口腔機能の低下、閉じこもり・認知症・うつなどの症状を早期に発見し対応することをお願いします。

問 29 あなたは日ごろ、病気の予防や健康づくり、介護予防に関する情報や助言を主にどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 孫
- 4 その他の家族
- 5 健康づくりのグループなどの仲間
- 6 地域包括支援センター
- 7 京都市長寿すこやかセンター
- 8 老人福祉センター
- 9 健康すこやか学級
- 10 医師・看護師
- 11 歯科医師
- 12 薬局(薬剤師)
- 13 保健所
- 14 福祉事務所
- 15 新聞・テレビ
- 16 書籍・雑誌
- 17 その他(具体的に:)
- 18 他にない

問 30 あなたは、下記の病気の予防や健康づくり、介護予防のための取組について、現在あるいは今後どのように考えていますか。(1)～(16)のそれぞれについて、1つずつお答えください。

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない
(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る	1	2	3	4
(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをとする	1	2	3	4
(3) 読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする	1	2	3	4
(4) 肥満や栄養不足などにならないよう、栄養バランスを考えたい食事をとる	1	2	3	4
(5) 歯磨きを毎日おこなう	1	2	3	4
(6) パランスのとれた食生活、栄養改善などに関する相談や地域の教室に参加する	1	2	3	4
(7) 食べるなどとお口の機能低下の予防に関する相談や地域での教室に参加する	1	2	3	4
(8) 転倒や骨折予防のための筋力向上をめざした地域での教室に参加する	1	2	3	4
(9) 定期的に健康診断を受診する	1	2	3	4
(10) 定期的にかん検診を受診する	1	2	3	4
(11) 定期的に歯科検診を受診する	1	2	3	4
(12) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に参加する	1	2	3	4
(13) 若い世代や子どもなどとの交流する場に参加する	1	2	3	4
(14) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する	1	2	3	4
(15) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする	1	2	3	4
(16) 収入を得る仕事をする	1	2	3	4

問 31 もし、あなたが介護や支援などが必要となった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(Oは1つ)

1 主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	
2 主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	
3 老人保健施設(※1)に入所したい	
4 療養病棟(※2)などに入所したい	
5 特別養護老人ホーム(※3)に入所したい	
6 グループホーム(※4)に入所したい	
7 介護老人ホーム(※5)に入所したい	
8 ケアハウス(※6)に入所したい	
9 有料老人ホーム(※7)に入所したい	
10 その他(具体的に:)	
11 わからない	

【「1」にOをつけた方におたずねします。】
 質問 あなたは、自宅で在宅福祉サービスを利用しながら暮らしていく場合、主にどのようなサービスを利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてにO)

- ホームヘルプ・デイサービス・ショートステイなどの介護保険サービス
- 配食サービス、緊急通報システム(あんしんネット119)などの高齢者福祉サービス
- 小規模多機能型居宅介護(※8)や夜間対応型訪問介護(※9)など、住み慣れた地域で利用できるサービス
- その他(具体的に:)

※1 老人保健施設：医学的管理の下での介護、看護、機能訓練、その他必要な医療などを行い、家庭での生活に戻れるよう支援する施設
 ※2 療養病棟：長期療養が必要な方に、看護、医学的管理下での介護、その他必要な医療などを提供する介護体制が整った施設
 ※3 特別養護老人ホーム：日常生活で常に介護が必要で、在宅での介護が困難な方に、日常生活の介護、栄養管理を行う施設
 ※4 グループホーム：少人数の認知症の高齢者がそれぞれ個室をもち、家庭的な雰囲気の中で介護職員の世話を受けながら共同生活する施設
 ※5 介護老人ホーム：65歳以上の方で、環境上の理由及び経済上の理由で自宅において生活できない場合に入所できる施設
 ※6 ケアハウス：居宅での生活が困難な60歳以上のひとり暮らしや高齢者夫婦のみ世帯などが入居でき、入浴・食事等の提供を受けながら生活する施設
 ※7 有料老人ホーム：高齢者を対象とした住宅に、食事などのサービス機能が付いた施設
 ※8 小規模多機能型居宅介護：通いを中心として、介護の必要な人の状態に応じ、随時訪問や泊まりを組み合わせてサービスを提供し、介護度が中重度になっても在宅生活が継続できるよう支援するサービス
 ※9 夜間対応型訪問介護：24時間安心して在宅で生活できるよう、夜間の定期的な巡回訪問や、利用者からの連絡に応じた随時訪問を組み合わせた訪問介護サービス

問 32 では、どのような支援が身近であれば、自宅での生活を続けていけると思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること
- 2 食事を配達し安否確認をしてもらえること
- 3 入浴やトイレなどを介助してもらえること
- 4 夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること
- 5 自宅の近くで「通い」や「訪問」「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること
- 6 家賃負担が軽減されること
- 7 契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること
- 8 病院まで送り迎えしてもらえること
- 9 自宅に来てくれる医師や看護師がいること
- 10 外出時に介助してくれる人がいること
- 11 住宅を改修するための支援を受けられること
- 12 日中の活動や交流できる窓口があること
- 13 気軽に相談できる窓口が身近にあること
- 14 自宅においても必要な情報が得られること
- 15 隣近所の人が互いに声かけや見守りを行うこと
- 16 地域での見回りなど、防犯対策がしっかりしていること
- 17 地域の災害時の対応がしっかりしていること
- 18 刑罰罰法など高齢者を狙った犯罪の被害から守られること
- 19 その他(具体的に:)
- 20 解らない

問 33 あなたの介護保険料の段階はどれですか。(○は1つ)

- 1 第1段階 (年額 28,560円)
- 2 第2段階 (年額 28,560円)
- 3 第3段階 (年額 42,840円)
- 4 第4段階 (年額 57,120円)
- 5 第5段階 (年額 62,832円)
- 6 第6段階 (年額 71,400円)
- 7 第7段階 (年額 85,680円)
- 8 第8段階 (年額 99,960円)
- 9 第9段階 (年額 114,240円)
- 10 わからない

【参考】京都市における現在の第1号被保険者保険料

所得段階区分	設定の考え方	介護保険料年額
		(月額)
第1段階	●本人が生活保護を受けている場合 ●本人が老齢福祉年金を受給し、本人及びすべての世帯員が市県税非課税の場合	基準額 ×0.5 28,560円 (2,380円)
第2段階	●本人及びすべての世帯員が市県税非課税であって、〔(前年の合計所得金額+前年中の課税年金収入額) ≤ 80万円/年〕を満たす場合	基準額 ×0.5 28,560円 (2,380円)
第3段階	●本人及びすべての世帯員が市県税非課税であって、第1段階・第2段階以外の場合	基準額 ×0.75 42,840円 (3,570円)
第4段階	●本人が市県税非課税で、世帯員の中に市民税(減免前)課税者がいる場合	基準額 57,120円 (4,760円)
第5段階	●本人が市県税(減免前)課税者の場合	125万円以下 基準額 ×1.1 62,832円 (5,236円)
第6段階		200万円未満 基準額 ×1.25 71,400円 (5,950円)
第7段階	●本人が市県税(減免前)課税者の場合	前年の合計所得金額 400万円未満 基準額 ×1.5 85,680円 (7,140円)
第8段階		700万円未満 基準額 ×1.75 99,960円 (8,330円)
第9段階	700万円以上 基準額 ×2.0 114,240円 (9,520円)	

※ あなたの介護保険料の所得段階区分については、本年7月に本市がお送りした平成19年度介護保険料の通知書に記載しています。

※ 平成19年度の市民税が税制改正に伴う経過措置対象である方と同じ世帯であるため第4段階となった方は、激変緩和措置が適用されるため、平成19年度は、上記の額よりも低い保険料額になる場合があります。

問 34 介護に必要となる費用の一部（約 19%）は、第 1 号被保険者（65 歳以上）が所得に応じて負担する保険料でまかなうことになっていきます。現在の所得割別保険料は問 33 の表にあるとおりますが、この設定方法などについて、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。

なお、制度の仕組みとして、住所情報（第 1 段階から第 3 段階）の保険料を軽減すれば、それ以外の方の保険料が増えることになります。（○は 1 つ）

- 1 このままの設定でよい
- 2 このままの設定でよいが、高齢者全体の保険料を一律に少しだけ上げて、その財源で困窮している方の保険料を下げる
- 3 所得段階に応じて細かな設定をし、高所得層の保険料を上げて、その財源で低所得層の保険料を下げる
- 4 その他（具体的に： _____）
- 5 わからない

問 35 介護保険制度では、施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの利用者の割合が高いほど、また、利用者 1 人当たりの利用される介護サービス量が多いほど、介護保険料が高くなります。

今後の保険料のあり方について、あなたの考えに最も近いのはどれですか。（○は 1 つ）

- 1 保険料がある程度高くなっても、施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの量をもっと充実させるべき
- 2 施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの量を抑えて、保険料を上げない方がよい
- 3 その他（具体的に： _____）
- 4 わからない

【参考】高齢者 1 人当たりの介護サービスに必要な費用と介護保険料基準額

事業計画運営期間	計画で見込んだ 介護サービスに必要な費用	介護保険料（基準額）
第 1 期 （平成 12 年度～14 年度）	約 208,000 円/年	35,496 円/年 （2,958 円/月）
第 2 期 （平成 15 年度～17 年度）	約 255,700 円/年	46,392 円/年 （3,866 円/月）
第 3 期 （平成 18 年度～20 年度）	約 272,400 円/年	57,120 円/年 （4,760 円/月）

問 36 介護サービスを利用する際には、利用料として 1 割負担が必要ですが、これについて、あなたの考えに最も近いのは次のうちどれですか。（○は 1 つ）

- 1 サービスを利用しているのだから、1 割の負担は当然である
- 2 1 割負担は重いですが、やむを得ない
- 3 1 割負担は重い
- 4 1 割負担は軽い
- 5 その他（具体的に： _____）
- 6 わからない

問 37 高齢化の進展に伴い、認知症の高齢者が増加すると言われています。今後、認知症高齢者対策として、どのようなことが特に必要だとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 認知症に関する知識の普及・啓発
- 2 認知症の予防、治療、介護のあり方などに関する知識の普及・啓発
- 3 認知症に関する身近な相談機関の充実
- 4 認知症高齢者を介護する施設や通所サービス事業所等の充実
- 5 認知症を診断できる専門医の充実など医療体制の整備
- 6 認知症高齢者の家族を支援するためのサービスの充実
- 7 成年後見制度の普及・啓発
- 8 認知症高齢者を狙った詐欺や悪徳商法の被害防止
- 9 地震や台風などの自然災害、火事などから安全に避難するための援助体制の確立
- 10 安否確認や見守り活動など近隣住民が協力した地域福祉活動の推進
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 わからない

※「認知症」とは、脳や身体の疾患を原因として、記憶・判断力などの障害がおこり、普通の社会生活が送れなくなつた状態を指します。

本市の認知症高齢者は、平成 26 年度には現在の 1.5 倍に当たる約 3 万 6 千人になると推計しています。

問 38 あなたは、高齢者虐待の防止のために特に重要な取組は、次のうちのどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 虐待防止のための住民への啓発活動
- 2 地域における最も身近な相談窓口である地域包括支援センターの周知
- 3 虐待発見に対する通報の義務化や通報者を保護する体制の整備
- 4 特別養護老人ホームや医療機関等と連携し、虐待を受けた高齢者を円滑に保護するための受け皿の充実
- 5 家族や親族などの養護者及び介護施設従事者に対する支援
- 6 安否確認や見守り活動など近隣住民が協力した地域福祉活動の体制づくり
- 7 その他(具体的に:)

※「高齢者虐待」には、暴力的な行為(身体的虐待)だけでなく、暴言や無視、いやがらせ(心理的虐待)や、必要な介護サービスの利用をさせない、世話をしないなどの行為(介護、世話の放棄・放任)、勝手に高齢者の資産を使ってしまうなどの行為(経済的虐待)などが含まれます。

問 39 高齢者保健福祉について、今後どのような施策の充実を望まれますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 在宅福祉サービスの充実
- 2 認知症高齢者や一人暮らし高齢者が在宅生活を継続できるよう、住み慣れた地域で利用できるサービスの充実
- 3 施設サービスの充実
- 4 病気の予防や健康づくり、老化の予防の支援
- 5 高齢者が働く場や趣味の確保や就労のあっせん
- 6 高齢者が社会参加しやすい働きかけ
- 7 高齢者の学習や文化・スポーツ活動への支援
- 8 高齢者と若い世代の交流の場づくり
- 9 建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり
- 10 高齢者向け住宅の充実
- 11 気軽に利用できる相談窓口の充実
- 12 その他(具体的に:)

問 40 市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについてのご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

B・C 共通 居宅サービス利用者調査・居宅サービス未利用者調査

「京都市民長寿すこやかプラン」見直しのための
高齢者の生活と健康に関する調査のご協力をお願い

このたび、京都市では「高齢者の生活と健康に関する調査」を実施することになりました。

この調査は、高齢者の方々が健康で安心して暮らすことができる長寿社会の実現に向けて、「京都市民長寿すこやかプラン」(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画)を見直すための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進めるうえで参考とさせていただきます。

対象となられる方は、市内にお住まいで、介護保険制度の要介護(要支援)認定を受けられた65歳以上の方(平成19年11月1日現在)の中から、無作為に選んだ5,250人の皆様です。

お答えいただいた内容は、統計の目的のみにも利用し、皆様には不利益のないよう秘密の保持には万全を期しております。

時節柄、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

平成19年12月 京都市

- ご返送いただく期日
ご記入後、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま、
平成19年12月28日(金)までにご返送くださいますようお願いいたします。
(切手は不要です。)

- 調査に関するお問合わせおよび送付先
京都市保健福祉社局長寿社会部長寿福祉課 (担当：長永、平田)
電話：(075)251-1106

- ご記入上のお願ひ
 1. この調査票は、原則として、宛名のご本人がお答えください。健康状態などにより、ご本人によるお答えができない場合のみ、ご本人の状況がわかるとご家族の方が、ご本人の意思を確認しながらご記入いただくか、ご本人の立場に立つてご記入ください。
 2. 質問文中の「あなた」とは、宛名のご本人のことを指しています。
 3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いいたします。
 4. この調査票の回答は、あてはまるものに○をつけていただくものと、複数回答していただくものがありますので、質問に従ってお答えください。

<記入例>

① はい 2 いいえ (どちらかに○)

← 「はい」と回答する場合

「京都市民長寿すこやかプラン」(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画)とは

本市では、高齢者施策を総合的に推進するため、平成18年3月に「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に見直すとともに両計画の総称を「第3期京都市民長寿すこやかプラン」としています。

高齢者保健福祉計画は、要介護者への介護サービス提供のほか、寝たきり、認知症等の予防のためのサービスの提供、ひとり暮らしの高齢者への生活支援、元気な高齢者への健康づくりやいきがいがいづくりも含め、地域における高齢者を対象とした保健サービスや福祉サービス全般にわたる供給体制づくりなどについて定めたものです。

介護保険事業計画は、地域における介護サービスの必要量を見込み、それを確保するための方策や介護保険料算定の基礎となる財政規模のほか、介護保険を円滑に運営するために必要な事業などについて定めたものです。

※ プランの計画期間は、平成18年度から20年度までの3年間ですが、平成20年度に見直すことになっています。

■ このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。(○は1つ)

1 宛名のご本人	
2 ご家族(ご本人との続柄:)	
3 その他(具体的に:)	

■ ご本人がアンケートに回答できない理由をお答えください。(○は1つ)

1 病院に入院中	
2 介護保険施設に入所(入院)中 (特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養病棟など)	
3 病气やけが	
4 物忘れがあり、電話番号が時々難しい	
5 認知症のため電話番号がいつも難しい	
6 障害(身体障害、知的障害など)	
7 別居・転居	
8 答えたくない	
9 その他(具体的に:)	

問1 あなた(宛名のご本人: 以下の問も同じ)の年齢は。(○は1つ)

1 65~69 歳	4 80~84 歳
2 70~74 歳	5 85 歳以上
3 75~79 歳	

問2 あなたの性別は。(どちらかに○)

1 男性	2 女性
------	------

問3 あなたがお住まいの地区は。(○は1つ)

1 北区	8 南区
2 上京区	9 右京区
3 左京区	10 西京区
4 中京区	11 洛西支所
5 東山区	12 伏見区
6 山科区	13 深草支所
7 下京区	14 醍醐支所

問3-2 あなたがお住まいの地域は、次のどれに最もよくあてはまりますか。

(○は1つ)

1 京町家など昔のまちなみが残る住宅街	
2 比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街	
3 昭和40年代以降の開発によって造られたニュータウン	
4 商店街や企業などが多くある商業地域	
5 比較的工場が多くある工業中心の地域	
6 田畑が広がる農業地域	
7 人口が少なく、交通の不便な山間・過疎地域	
8 その他(具体的に:)	

問4 あなたの現在の主な収入源は、どれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 自分が働いて得る給与	
2 公的な年金(国民年金・厚生年金・共済年金など)	
3 恩給	
4 私的な年金(企業年金・個人年金など)	
5 預貯金の引出し	
6 貸家などの賃貸収入や利子・配当金などの収入	
7 同居家族の収入	
8 子どもなどからの援助	
9 生活保護	
10 その他(具体的に:)	

問4-2 あなたの年間総収入（年金なども含め、税込みで）はどれくらいですか。（〇は1つ）

- 1 50万円未満
- 2 50万円以上100万円未満
- 3 100万円台
- 4 200万円台
- 5 300万円台
- 6 400万円台
- 7 500万円台
- 8 600万円台
- 9 700万円以上

問5 あなたは現在、どこにお住まいですか。（〇は1つ）

- 1 自宅
- 2 病院に入院中
- 3 有料老人ホームに入所している
- 4 養護老人ホームに入所している
- 5 ケアハウスや軽費老人ホームに入所している
- 6 その他（具体的に： ）

【「1」「2」に〇をつけた方におたずねします。】

副問1 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。（〇は1つ）

- 1 持家（一戸建て）
- 2 持家（分譲マンション）
- 3 民間賃貸住宅（一戸建て）
- 4 民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）
- 5 公営住宅
- 6 社宅・官舎
- 7 間借り・住み込み
- 8 その他（具体的に： ）

副問2 お住まいの状況についておたずねします。（あてはまるものすべてに〇）

- 1 住宅が狭い
- 2 住宅が古くなくなったりいたんだりしている
- 3 家の中の階段が急である／手すりがない
- 4 共用部分の階段が急である／手すりがない
- 5 エレベーターが設置されていない（2階以上にお住まいの方）
- 6 家の中に大きな段差がある
- 7 立ち退きを迫られている
- 8 その他（具体的に： ）
- 9 特に問題はない

問6 ご家族の状況について、お答えください。（〇は1つ）
※ この問では、ご本人の配偶者の方も、「あなた」に含めてお答えください。

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦のみ（2人ともに65歳以上）
- 3 夫婦のみ（2以外の未婚世帯）
- 4 兄弟姉妹のみ（全員65歳以上）
- 5 兄弟姉妹のみ（4以外の兄弟姉妹世帯）
- 6 あなたと親（二世代同居）
- 7 あなたと子供（二世代同居）
- 8 あなたと子供と孫（三世代同居）
- 9 あなたと親と子供（三世代同居）
- 10 その他（具体的に： ）

副問【「1」以外に〇をつけた方におたずねします。】

(1) あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。（〇は1つ）

- 1 ほとんどない
- 2 ときどきある
- 3 いつもひとりきりである

(2) あなたは、夜間、ひとりきりになることがありますか。（〇は1つ）

- 1 ほとんどない
- 2 ときどきある
- 3 いつもひとりきりである

問7 あなたの要介護度は次のどれにあてはまりますか。（〇は1つ）

- 1 要支援1
- 2 要支援2
- 3 要介護1
- 4 要介護2
- 5 要介護3
- 6 要介護4
- 7 要介護5

問7-2 あなたの要介護度は、前回の要介護認定と比べてどのように変化しましたか。（〇は1つ）

- 1 軽くなった
- 2 変化なし
- 3 重くなった

問8 この半年ぐらいの間で、心身の状態に変化がありましたか。(1)～(11)のそれぞれについて、どのように変化したかを1つずつお答えください。

(1)	外出の回数についてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 変化なし
(2)	人としやべることについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 変化なし
(3)	寝つきや眠りの深さについてはどうですか	1 よくなった	2 悪くなった	3 変化なし
(4)	体重の増減についてはどうですか	1 増えた	2 減った	3 変化なし
(5)	活動意欲についてはどうですか	1 意欲が出てきた	2 意欲が低下した	3 変化なし
(6)	身の回りのこと(片付けなど)についてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできるなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(7)	歩くことについてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできるなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(8)	起き上がることについてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできるなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(9)	最近の出来事を思い出せないことについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 以前からない又は変化なし
(10)	食べ物を噛むことについてはどうですか	1 うまく噛めるようになった	2 うまく噛めるようにならなかった	3 以前から噛める又は変化なし
(11)	不意に尿がもれることについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 以前からない又は変化なし

問9 あなたの日ごろの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1 とても健康だと思う
 2 まあ健康だと思う
 3 あまり健康ではないと思う
 4 健康ではないと思う
 5 どちらとも言えない

問10 あなたは、普段から診察を受けたり、日常の健康についての相談や指導を受けることできる、かかわりの深い「かかりつけ医」などを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 かかりつけ医
 2 かかりつけ歯科医
 3 かかりつけ薬剤師
 4 持っていない

問11 家の中での日ごろの状況についてお答えねします。(1)～(5)のそれぞれについて、1つずつお答えください。(ふだん、つえや車イスなどを使用している方は、それを使用した状態で行動をお答えください。)

(1)	食事をとることについてはどうですか	1 手助けなしでできる	2 おかずをきざんでもらうなど、一部手助けが必要	3 全面的に人の手を借りない
(2)	排せつ(トイレ)に ついてはどうですか	1 手助けなしでできる	2 腰器に座らせてもらうなど、一部手助けが必要	3 全面的に人の手を借りない
(3)	着替えについてはどうですか	1 手助けなしでできる	2 そでを運してもらうなど、一部手助けが必要	3 全面的に人の手を借りない
(4)	入浴についてはどうですか	1 手助けなしでできる	2 身体を洗ってもらうなど、一部手助けが必要	3 全面的に人の手を借りない
(5)	洗髪、歯みがき、ひげそりなどの身だしなみについてはどうですか	1 手助けなしでできる	2 タオルで顔をふいてもらうなど、一部手助けが必要	3 全面的に人の手を借りない

問12 ふだんの生活の様子についてお答えねします。(1)～(13)のそれぞれについて、「1 はい」「2 いいえ」のどちらから1つをお答えください。

(1)	バスや電車を使って、ひとりで外出ができますか	1 はい	2 いいえ
(2)	日用品の買い物ができますか	1 はい	2 いいえ
(3)	自分で食事の用意ができますか	1 はい	2 いいえ
(4)	請求書の支払いができますか	1 はい	2 いいえ
(5)	銀行預金・郵便貯金の出し入れができますか	1 はい	2 いいえ
(6)	年金などの書類が書けますか	1 はい	2 いいえ
(7)	新聞を読んでいますか	1 はい	2 いいえ
(8)	本や雑誌を読んでいますか	1 はい	2 いいえ
(9)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1 はい	2 いいえ
(10)	友人の家を助ねることがありますか	1 はい	2 いいえ
(11)	家族や友人の相談にのることがありますか	1 はい	2 いいえ
(12)	病人を見舞うことができますか	1 はい	2 いいえ
(13)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1 はい	2 いいえ

問 19 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できるところはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親類
- 2 隣近所の人
- 3 知人・友人
- 4 民生委員や老人福祉員
- 5 かかりつけの医師
- 6 ケアマネジャー (介護支援専門員)
- 7 地域包括支援センター
- 8 京都市長寿すこやかセンター
- 9 福祉事務所
- 10 社会福祉協議会
- 11 その他 (具体的に:)
- 12 特にない

問 20 あなたは、あなたの地域の町内会長 (自治会長) の名前及び顔を両方とも知っていますか。(○は1つ)

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 21 あなたは、あなたの地域の民生委員の名前及び顔を両方とも知っていますか。(○は1つ)

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 22 あなたは、あなたの地域の老人福祉員の名前及び顔を両方とも知っていますか。(○は1つ)

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 23 あなたは現在、どのような活動に生きがいを感じますか。次の中からあてはまるものをお書きください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 趣味や娯楽のサークル活動
- 2 学習や教養などを身につける活動
- 3 健康づくりやスポーツ活動
- 4 地域の団体や行事への参加
- 5 社会奉仕活動
- 6 若い世代との交流
- 7 旅行
- 8 その他 (具体的に:)
- 9 特にない

問 24 あなたはふだん、買い物、散歩、通院、趣味活動などでどのくらい外出していますか。(○は1つ)

- 1 毎日
- 2 週に5～6日
- 3 週に3～4日
- 4 週に1～2日
- 5 月に1～3日
- 6 ほとんど外出しない

問 25 あなたは現在、介護保険のサービスを利用していますか。(どちらかに○)

- 1 利用している
- 2 利用していない

副問 【「2」に○をつけた方におたずねします。】介護サービスを利用していない理由は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 当面家族などによる介護で充分だから
- 2 介護保険以外のサービスを利用しているから
- 3 ふだんから食習慣や生活習慣など健康管理に気を配っているから
- 4 ふだんからスポーツや運動などを意識的にを行い、身体機能が劣らないよう努力しているから
- 5 自分で身の回りのことをするように努力しているから
- 6 事業者の職員など、他人を自宅に入れたくないから
- 7 現在病院に入院中だから(又は最近まで入院していたから)
- 8 利用料が高いから
- 9 サービス利用の手続きが複雑で面倒だから
- 10 どのようなサービスを利用したらよいかわからないから
- 11 利用したいサービスが近くにないから
- 12 定員の関係で利用できなかったから
- 13 営業時間や曜日の関係で利用できなかったから
- 14 他人の世話になりたくないから
- 15 近所の目が気になる、世間体が悪いから
- 16 これから利用するつもり
- 17 その他(具体的に:)

問 26 居宅介護支援事業所(ケアプランを作成する事業所)を、どのようにして選びましたか。(○は1つ)
なお、一定の学区を担当している地域包括支援センターでケアプランを作成された方は、問 27へお進みください。

- 1 ケアプランを作成する事業所は利用していない(セルフケアプランなどのため)
- 2 福祉事務所の相談窓口にあるリストから自分(または家族)が選んだ
- 3 訪問調査の調査員と相談して自分(または家族)が選んだ
- 4 介護保険の認定を受ける前に利用していたサービス事業者(病院)からすすめられて自分(または家族)が選んだ
- 5 事業所の広告を見て自分(または家族)が選んだ
- 6 知人にすすめられて自分(または家族)が選んだ
- 7 その他(具体的に:)

次のページの問 28 へ

副問1 【「2～7」のいずれかに○をつけた方におたずねします。】事業所を選ぶにあたって、事業所の数が十分あると感じられましたが。(○は1つ)

- 1 十分あると感じた
- 2 やや不足していると感じた
- 3 不足していると感じた
- 4 わからない

副問2 【「2」「3」のいずれかに○をつけた方におたずねします。】不足していると感じられた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 いくつかの事業所に連絡したが断られた
- 2 契約しようとしても、すぐに契約できる事業所がなかった(待機した)
- 3 自分の希望や条件に合う事業所がなかった
- 4 事業所が自宅の近くになかった
- 5 事業所に関する情報が入手しにくかった
- 6 その他(具体的に:)

次のページの問 27 へ

問 27 【「居宅介護支援事業所」若しくは「地域包括支援センター」のいずれかを利
用されている方におたずねします。】あなたのケアプラン（介護サービス計画
又は介護予防サービス計画）を作成している担当者の対応に満足していますか。
（○は1つ）

1 満足	↓	副問 【「4」若しくは「5」に○をつけた方におたずねします。】どのようなところが 不満足ですか。（○は1つ）
2 ほぼ満足		1 心身の状態や困っていることなどについて、じっくり話を聞いてくれなかった
3 ふつう		2 サービスの種類や内容の説明が不十分だった
4 やや不満		3 介護保険で使える限度額や利用料について、説明が不十分だった
5 不満		4 サービスの利用について、希望を十分に取り入れてくれなかった
		5 特定のサービス事業者を利用するように勧められた
		6 その他（具体的に： _____ ）

問 28 あなたは、障害や疾患、認知症の症状などを理由に、サービスの利用を事業者から
断られたことはありませんか。（どちらかに○）

1 ある	↓	副問 【「1」に○をつけた方におたずねします。】その理由は主にどのようなことでしたか。（あてはまるものすべてに○）
2 ない		1 個々の障害に応じた対応が難しかったため
		2 体制上の問題で対応が難しかったため
		3 問題行動への対応が難しかったため
		4 医療行為への対応が難しかったため
		5 その他（具体的に： _____ ）

問 29 介護保険の居宅サービスの利用状況と希望についておたずねします。（1）～
（12）のそれぞれについて、1つずつお答えください。

サービスの名称と内容	利用している あり、足り ている	利用して いないが、 今後は利 用したい	利用して いないが 必要がな い	
(1) 訪問介護（ホームヘルプサービス） （ホームヘルパーが訪問して、入浴・排 泄・食事等の介護や家事など日常生活の援 助を行う）	1	2	3	4
(2) 訪問入浴介護 （浴槽を備んだ入浴車などで訪問し、入浴 の介護を行う）	1	2	3	4
(3) 訪問看護 （主治医の指示に基づいて看護師などが訪 問し、療養上の世話や診療の補助を行う）	1	2	3	4
(4) 訪問リハビリテーション （理学療法士や作業療法士が訪問し、機能 訓練（リハビリテーション〔理学療法・作業 療法〕）を行う）	1	2	3	4
(5) 通所介護（デイサービス） （デイサービスセンターに通って、入浴・ 排泄・食事の支援、機能訓練を行う）	1	2	3	4
(6) 通所リハビリテーション（デイ・ケア） （医療施設などに通って、心身機能の維持 回復や日常生活の自立援助を行う）	1	2	3	4
(7) 短期入所生活介護（ショートステイ） （特別養護老人ホームなどに短期間入所し ていただき、入浴・排泄、食事その他の日常 生活の介護や機能訓練を行う）	1	2	3	4
(8) 短期入所療養介護（ショートステイ） （医療施設などに短期間入所していただき 、医学的ケアのもとで看護や機能訓練、 日常生活の介護を行う）	1	2	3	4
(9) 福祉用具の貸与 （車いすやベッドなど日常生活の維持や機 能訓練のための福祉用具の貸出しを行う）	1	2	3	4
(10) 小規模多機能型居宅介護 （小規模な住居型の施設で、通いを中心と しながら訪問、短期間の宿泊などを組み合 わせて食事、入浴などの介護や支援を行 う）	1	2	3	4
(11) 認知症対応型通所介護 （認知症の高齢者が食事、入浴などの介護 や支援、機能訓練を日帰りで行う）	1	2	3	4
(12) 認知症対応型訪問介護 （ヘルパーによる夜間の定例巡回や、緊急 時に対応できるよう臨時訪問を行う）	1	2	3	4

問 30 介護サービス提供事業者やサービス内容に関して、十分な情報が得られていますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満

副問 【「4」「5」に○をつけた方におたずねします。】不満を感じておられるのはどのような点ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 知りたい情報が得られない
- 2 どこへ行けば情報を得られるのかわからない
- 3 事業者から十分な説明がない
- 4 情報の内容がわかりにくい
- 5 その他(具体的に:)

問 31 現在、介護保険施設に入所(入院)の申込みをしていますか。それぞれについて申込みの有無と、申し込んでいる施設数をお書きください。

	申込みの有無 (どちらかに○)	申込み施設数
(1) 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	1 申し込んでいる 2 申し込んでいない	カ所
(2) 介護老人保健施設 (老人保健施設)	1 申し込んでいる 2 申し込んでいない	カ所
(3) 介護療養型医療施設 (療養病床など)	1 申し込んでいる 2 申し込んでいない	カ所

問 32へ

副問 1 入所の申込みをされたのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 一人暮らしのため、在宅での生活に不安がある
- 2 申込者が多く、入所するまで相当の時間がかかると聞いた
- 3 家族が不在の時に、介護を頼める人がいない
- 4 自宅に介護専用の居室がない
- 5 家族の介護負担が重すぎる
- 6 家族に迷惑をかけたくない
- 7 認知症による問題行動があり、在宅では対応できない
- 8 在宅介護と比べ、施設の方が身体能力等の維持向上に効果があるように思う
- 9 在宅でサービスを利用するよりも割安感がある
- 10 その他(具体的に:)

副問 2 入所申込みをするきっかけは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で希望して
- 2 家族に勧められて
- 3 ケアマネジャーから勧められて
- 4 サービス提供事業者から勧められて
- 5 医師、病院から勧められて
- 6 民生委員や老人福祉員から勧められて
- 7 知人や近隣の人から勧められて
- 8 地域包括支援センターで相談して
- 9 福祉事務所で相談して
- 10 その他(具体的に:)

副問 3 施設への早急な入所を希望しますが、(○は1つ)

- 1 早急な入所を希望する
- 2 居宅サービスの利用や家族などの介護により、しばらくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない
- 3 現在病院に入院中で、治療が必要な状態であるため、早急な入所を希望しない
- 4 その他(具体的に:)

問 32 あなたは日ごろ、ご自分の心身の変化（足腰のおとろえ、氣力がわかず何もしたくなくなるなど）に氣を配り、早目に改善しておられますか。（○は1つ）

- 1 日ごろからよく氣をつけて、改善に取り組んでいる
- 2 氣をつけてはいるが、適切に対応できていないかわからない
- 3 あまり氣をつけていない
- 4 まったく氣をつけていない

問 33 介護予防とは、元氣な高齢者になるべく要介護状態にならないように、そして、介護が必要な人も、それ以上悪化させないようにする取組です。

このことについて、あなたはご存知でしたか。（○は1つ）

- 1 よく知っている
- 2 ある程度は知っている
- 3 聞いたことはある
- 4 まったく知らない

※ 介護予防とは、具体的に足などの筋力低下や低栄養、食べ物を嚥んだり飲んだりする口腔機能の低下、閉じこもり・認知症・うつなどの症状を早期に発見し対応することを目指します。

問 34 あなたは日ごろ、病気の予防や健康づくり、介護予防に関する情報や助言を主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 孫
- 4 その他の家族
- 5 健康づくりのグループなどの仲間
- 6 地域包括支援センター
- 7 京都市長寿すこやかセンター
- 8 老人福祉センター
- 9 健康すこやか学校
- 10 医師・看護師
- 11 歯科医師
- 12 薬局（薬剤師）
- 13 保健所
- 14 福祉事務所
- 15 新聞・テレビ
- 16 書籍・雑誌
- 17 その他（具体的に：_____）
- 18 特になし

問 35 あなたは、下記の病気の予防や健康づくり、介護予防のための取組について、現在あるいは今後どのように考えていますか。（1）～（16）のそれぞれについて、1つずつお答えください。

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない
(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る	1	2	3	4
(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする	1	2	3	4
(3) 読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする	1	2	3	4
(4) 肥満や栄養不足などにならないよう、栄養バランスを考えたい食事をとる	1	2	3	4
(5) 歯磨きを毎日おこなう	1	2	3	4
(6) バランスのとれた食生活、栄養成分などに関する相談や地域の教室に参加する	1	2	3	4
(7) 食べることなど口の機能低下の予防に関する相談や地域での教室に参加する	1	2	3	4
(8) 転倒や骨折予防のための筋力向上をめざした地域での教室に参加する	1	2	3	4
(9) 定期的に健康診断を受診する	1	2	3	4
(10) 定期的にがん検診を受診する	1	2	3	4
(11) 定期的に歯科検診を受診する	1	2	3	4
(12) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に参加する	1	2	3	4
(13) 若い世代や子どもなどと交流する場に参加する	1	2	3	4
(14) 生かすいいや教養を高めるための各種講座を受講する	1	2	3	4
(15) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする	1	2	3	4
(16) 収入を得る仕事をする	1	2	3	4

問 36 もし、あなたが介護や支援などが必要となった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(〇は1つ)

- 1 主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい
- 2 主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい
- 3 老人保健施設(※1)に入所したい
- 4 療養病棟(※2)などに入所したい
- 5 特別養護老人ホーム(※3)に入所したい
- 6 グループホーム(※4)に入所したい
- 7 養護老人ホーム(※5)に入所したい
- 8 ケアハウス(※6)に入所したい
- 9 有料老人ホーム(※7)に入所したい
- 10 その他(具体的に:)
- 11 わからない

【「1」に〇をつけた方におたずねします。】
 副問 あなたは、自宅で在宅福祉サービスを利用しながら暮らしていく場合、主にどのようなサービスを利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 ホームヘルプ・デイサービス・ショートステイなどの介護保険サービス
- 2 配食サービス・緊急通報システム(あんしんネット119)などの高齢者福祉サービス
- 3 小規模多機能型居宅介護(※8)や夜間対応型訪問介護(※9)など、住み慣れた地域で利用できるサービス
- 4 その他(具体的に:)

※1 老人保健施設：医学的管理の下での介護、看護、機能訓練、その他必要な医療などを行い、家庭での生活に戻るよう支援する施設
 ※2 療養病棟：早期療養が必要な方に、看護、医学的管理下での介護、その他必要な医療などを提供する介護体制が整った施設
 ※3 特別養護老人ホーム：日常生活で常に介護が必要で、在宅での介護が困難な方に、日常生活の介護、健康管理を行う施設
 ※4 グループホーム：少人数の認知症の高齢者がそれぞれ個室を持ち、家庭的な雰囲気の中で介護職員の手話を受けながら共同生活する施設
 ※5 養護老人ホーム：65歳以上の方で、専業主婦以上の理由及び経済上の理由で居宅において生活できない場合に入所できる施設
 ※6 ケアハウス：居宅での生活が困難な60歳以上のひとり暮らしや高齢者夫婦のみ世帯などが入居でき、入浴・食事等の提供を受けながら生活する施設
 ※7 有料老人ホーム：高齢者を対象とした住宅に、食事などのサービス機能が付いた施設
 ※8 小規模多機能型居宅介護：通いを中心として、介護の必要な人の状態に応じ、随時訪問や泊まりを組み合わせてサービスを提供し、介護度が中重度になっても在宅生活が継続できるよう支援するサービス
 ※9 夜間対応型訪問介護：24時間安心して在宅で生活できるよう、夜間の定期的な巡回訪問や、利用者からの連絡に応じた随時訪問を組み合わせた訪問介護サービス

問 37 では、どのような支援が身近にあれば、自宅での生活を続けていけると思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること
- 2 食事を配達し安否確認をしてもらえること
- 3 入浴やトイレなどを介助してもらえること
- 4 夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること
- 5 自宅の近くで「通い」や「訪問」「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合せながら利用できること
- 6 家賃負担が軽減されること
- 7 契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること
- 8 病院まで送り迎えしてもらえること
- 9 自宅に来てくれる医師や看護師がいること
- 10 外出時に介助してくれる人がいること
- 11 住宅を改修するための支援を受けられること
- 12 日中の活動や交流できる場があること
- 13 気軽に相談できる窓口が身近にあること
- 14 自宅にいても必要な情報が得られること
- 15 近隣の人が互いに声かけや見守りを行うこと
- 16 地域での見回りなど、防犯対策がしっかりしていること
- 17 地域の災害時の対応がしっかりしていること
- 18 悪質商法など高齢者を狙った犯罪の被害から守られること
- 19 その他(具体的に:)
- 20 特にない

問 38 あなたの介護保険料の段階はどれですか。(○は1つ)

1 第1段階 (年額 28,560円)	6 第6段階 (年額 71,400円)
2 第2段階 (年額 28,560円)	7 第7段階 (年額 85,680円)
3 第3段階 (年額 42,840円)	8 第8段階 (年額 99,960円)
4 第4段階 (年額 57,120円)	9 第9段階 (年額 114,240円)
5 第5段階 (年額 62,832円)	10 わからない

【参考】京都市における現在の第1号被保険者保険料

所得段階区分	所定の考え方	介護保険料年額
		(月額)
第1段階	●本人が生活保護を受給している場合 ●本人が老齢厚生年金を受給し、本人及びすべての世帯員が市民税非課税の場合	28,560円 (2,380円)
第2段階	●本人及びすべての世帯員が市民税非課税であって、〔(前年の合計所得金額+前年中の課税年金収入額) ≤ 80万円/年〕を満たす場合	28,560円 (2,380円)
第3段階	●本人及びすべての世帯員が市民税非課税であって、第1段階・第2段階以外の場合	42,840円 (3,570円)
第4段階	●本人が市民税非課税で、世帯員の中に市民税(減免前)課税者がいる場合	57,120円 (4,760円)
第5段階	12.5万円以下	62,832円 (5,236円)
第6段階	20.0万円未満	71,400円 (5,950円)
第7段階	前年の合計所得金額 40.0万円未満	85,680円 (7,140円)
第8段階	70.0万円未満	99,960円 (8,330円)
第9段階	70.0万円以上	114,240円 (9,520円)

※ あなたの介護保険料の所得段階区分については、本年7月に本市がお送りした平成19年度介護保険料の通知書に記載しています。

※ 平成19年度の市民税が税制改正に伴う経過措置対象である方と同じ世帯であるため第4段階となった方は、減免緩和措置が適用されるため、平成19年度は、上記の表よりも低い保険料額になる場合があります。

問 39 介護に必要な費用の一部(約19%)は、第1号被保険者(65歳以上)が所得に応じて負担する保険料でまかなうことになっています。現在の所得段階別保険料は問38の表にあるとおりですが、この設定方法などについて、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。

なお、制度の仕組みとして、低所得層(第1段階から第3段階)の保険料を軽減すれば、それ以外の方の保険料が増えることになります。(○は1つ)

- 1 このままの設定でよい
- 2 このままの設定でよいが、高齢者全体の保険料を一律に少しだけ上げて、その財源で困窮している方の保険料を下げる
- 3 所得段階に応じて細かな設定をし、高所得層の保険料を上げて、その財源で低所得層の保険料を下げる
- 4 その他(具体的に:)
- 5 わからない

問 40 介護保険制度では、施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの利用者の割合が高いほど、また、利用者1人当たりの利用される介護サービス量が多いほど、介護保険料が高くなります。

今後の保険料のあり方について、あなたの考えに最も近いのはどれですか。(○は1つ)

- 1 保険料がある程度高くなっても、施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの量をもっと充実させるべき
- 2 施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの量を抑えて、保険料を上げない方がよい
- 3 その他(具体的に:)
- 4 わからない

【参考】高齢者1人当たりの介護サービスに必要な費用と介護保険料基準額

事業計画運営期間	計画で算込んだ	
	介護サービスに必要な費用	介護保険料
第1期 (平成12年度～14年度)	約208,000円/年	35,496円/年 (2,958円/月)
第2期 (平成15年度～17年度)	約255,700円/年	46,392円/年 (3,866円/月)
第3期 (平成18年度～20年度)	約272,400円/年	57,120円/年 (4,760円/月)

問 41 介護サービスを利用する際には、利用料として1割負担が必要ですが、これについて、あなたの考えに最も近いのは次のうちどれですか。(○は1つ)

- 1 サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である
- 2 1割負担は重いですが、やむを得ない
- 3 1割負担は重い
- 4 1割負担は軽い
- 5 その他(具体的に:)
- 6 わからない

問 42 高齢者保健福祉社について、今後どのような施策の充実を望めますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 在宅福祉サービスの充実
- 2 認知症高齢者や一人暮らし高齢者が在宅生活を継続できるよう、住み慣れた地域で利用できるサービスの充実
- 3 施設サービスの充実
- 4 病気の予防や健康づくり、老化の予防の支援
- 5 高齢者が働く場や就業のあっせん
- 6 高齢者が社会参加しやすい働きかけ
- 7 高齢者の学習や文化・スポーツ活動への支援
- 8 高齢者と若い世代の交流の場づくり
- 9 建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり
- 10 高齢者向け住宅の充実
- 11 気軽に利用できる相談窓口の充実
- 12 その他(具体的に:)

問 43 市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについてのご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ここからはふだん介護されている方におたずねします。

問 44 宛名の高齢者の方をふだん介護されている方（主な介護者）はどなたですか。

(1) 続柄 (○は1つ)

- 1 配偶者
2 息子
3 娘
4 息子の配偶者
5 娘の配偶者
6 その他 (具体的に:)

(2) 年代 (○は1つ)

- 1 30歳未満
2 30歳代
3 40歳代
4 50歳代
5 60歳代
6 70歳以上

問 44-2 宛名の高齢者の介護について、サービスを利用するかなど、意思決定に最も関わっておられる方はどなたですか。

(1) 続柄 (○は1つ)

- 1 配偶者
2 息子
3 娘
4 息子の配偶者
5 娘の配偶者
6 その他 (具体的に:)

(2) 年代 (○は1つ)

- 1 30歳未満
2 30歳代
3 40歳代
4 50歳代
5 60歳代
6 70歳以上

問 45 家庭での介護について、負担が大きいと感じるのはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 毎日の食事の用意
2 掃除や洗濯
3 外出の介助
4 入浴の介助
5 室内の移動
6 本人が介護サービスの利用を嫌がる
7 介護の方法がわからない
8 本人との人間関係がうまくいかない
9 他の家族や親戚などの理解・協力が得られない
10 自由な時間がとれない
11 費用がかかる
12 その他 (具体的に:)

問 46 介護されている方の星間の生活状況は。(○は1つ)

- 1 自宅にいて主に介護をしている
2 自宅にいて主に家事をしている
3 自宅にいて主に仕事をしている
4 パートで働きに出ている
5 常勤で働きに出ている
6 その他 (具体的に:)

問 47 介護者の方ご自身は、どのようなサービスを利用したいですか。

(1) ~ (4) のそれぞれについて、1つずつお答えください。

	ぜひ利用 したい	機会があれば、 利用してみたい	利用する 必要がない
(1) 日常の介助から一時的にリブレッ シュするためのサービス	1	2	3
(2) 介助している家族等を対象とす る、介助方法等についての教室	1	2	3
(3) 介助者同士の交流の場	1	2	3
(4) 介助者の健康増進を図るサービス (健診、訪問指導等)	1	2	3

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

D 若年者調査

**「京都市民長寿すこやかプラン」見直しのための
高齢期の生活と健康に関する意識調査のご協力をお願い**

このたび、京都市では「高齢期の生活と健康に関する意識調査」を実施することになりました。

この調査は、高齢者の方々が健康で安心して暮らすことができる長寿社会の実現に向けて、「京都市民長寿すこやかプラン」(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画)を見直すための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進めるうえで参考とさせていただきます。

対象となられる方は、市内にお住まいの40歳以上55歳未満の方(平成19年11月1日現在)の中から、無作為に選んだ3,000人の皆様です。

この調査は、介護保険制度では「第2号被保険者」に該当する皆様に、いずれ迎える高齢期において必要となるであろう介護や福祉サービスなど、地域で健やかに生活していくために必要な施策に対する意向をおたずねするものです。

お答えいただいた内容は、統計の目的のみに利用し、皆様には不利益のないよう秘密の保持には万全を期しております。

時節柄、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成19年12月 京 都 市

- ご返送いただく期日
ご記入後、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま、
平成19年12月28日(金)までにご返送くださいますようお願いいたします。
(切手は不要です。)

- 調査に関するお問い合わせおよび送付先
京都市保健福祉局長寿社会部長寿福祉課 (担当：長寿、平田)
電話：(075)251-1106

■ ご記入上のお願い

1. この調査票は、原則として、宛名のご本人がお答えください。健康状態などにより、ご本人によるお答えができない場合のみ、ご本人の状況がわかるご家族の方が、ご本人の意思を確認しながらご記入いただくか、ご本人の立構に立ってご記入ください。
2. 質問文中の「あなた」とは、宛名のご本人のことを指しています。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いいたします。
4. この調査票の回答は、あくはまるものに○をつけていただくものと、複数回答していただくものがありますので、質問に従ってお答えください。

<記入例>

① はい 2 いいえ (どちらかに○) ー 「はい」と回答する場合

「京都市民長寿すこやかプラン」(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画)とは

本市では、高齢者施策を総合的に推進するため、平成18年3月に「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に見直すとともに両計画の総称を「第3期京都市民長寿すこやかプラン」としています。

高齢者保健福祉計画は、要介護者への介護サービスの提供のほか、寝たきり、認知症等の予防のためのサービスの提供、ひとり暮らしの高齢者への生活支援、元気な高齢者への健康づくりやいきがいきがづくりも含め、地域における高齢者を対象とした保健サービスや福祉サービスを全般にわたる供給体制づくりなどについて定めたものです。

介護保険事業計画は、地域における介護サービスの必要量を見込み、それを確保するための方策や介護保険料算定の基礎となる財政規模のほか、介護保険を円滑に運営するために必要な事業などについて定めたものです。

※ プランの計画期間は、平成18年度から20年度までの3年間ですが、平成20年度に見直すことになっています。

■ このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。(○は1つ)

1 宛名のご本人)
 2 ご家族(ご本人との続柄:))
 3 その他(具体的に:))

■ ご本人がアンケートに回答できない理由をお答えください。(○は1つ)

1 病院に入院中
 2 病気やけが
 3 障害(身体障害、知的障害など)
 4 別居・転居
 5 考えたくない
 6 その他(具体的に:))

問1 あなた(宛名のご本人: 以下の間も同じ)の年齢は。(○は1つ)

1 40~44歳 4 55~59歳
 2 45~49歳 5 60~64歳
 3 50~54歳

問2 あなたの性別は。(どちらかに○)

1 男性 2 女性

問3 あなたがお住まいの地区は。(○は1つ)

1 北区 8 南区
 2 上京区 9 右京区
 3 左京区 10 西京区
 4 中京区 11 洛西支所
 5 東山区 12 伏見区
 6 山科区 13 深草支所
 7 下京区 14 醍醐支所

問3-2 あなたがお住まいの地域は、次のどれに最もよくあてはまりますか。(○は1つ)

1 京町家など昔のまちなみが残る住宅街
 2 比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街
 3 昭和40年代以降の開発によって造られたニュータウン
 4 商店街や企業などが多くある商業地域
 5 比較的工場が多くある工業中心の地域
 6 田畑が広がる農業地域
 7 人口が少なく、交通の不便な山間・過疎地域
 8 その他(具体的に:))

問4 あなたの現在の住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 持家(一戸建て) 5 公営住宅
 2 持家(分譲マンション) 6 社宅・官舎
 3 民間賃貸住宅(一戸建て) 7 間借り・住み込み
 4 民間賃貸住宅(マンション・アパートなど) 8 その他(具体的に:))

問4-2 お住まいの状況についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

1 住宅が狭い
 2 住宅が古くなったりいたんだりしている
 3 家の中の階段が急である/手すりがついていない
 4 共用部分の階段が急である/手すりがついていない
 5 エレベーターが設置されていない(2階以上にお住まいの方)
 6 家の中に大きな段差がある
 7 立ち退きを迫られている
 8 その他(具体的に:))
 9 特に問題はない

問5 あなたの現在の主な収入源は、どれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 自分が働いて得る給与
 2 公的な年金(国民年金・厚生年金・共済年金など)
 3 恩給
 4 私的な年金(企業年金・個人年金など)
 5 預貯金の引出し
 6 貸家などの賃貸収入や利子・配当金などの収入
 7 同居家族の収入
 8 子どもなどからの援助
 9 生活保護
 10 その他(具体的に:))

問5-2 あなたの年間総収入（年金なども含め、税込み）はどれくらいですか。
 (○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 50万円未満 | 6 400万円台 |
| 2 50万円以上100万円未満 | 7 500万円台 |
| 3 100万円台 | 8 600万円台 |
| 4 200万円台 | 9 700万円以上 |
| 5 300万円台 | |

問6 ご家族の状況について、お答えください。(○は1つ)
 ※ この問では、ご本人の配偶者の方も、「あなた」に含めてお答えください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 ひとり暮らし | 5 あなたと子供（二世代同居） |
| 2 夫婦のみ | 6 あなたと子供と孫（三世代同居） |
| 3 兄弟姉妹のみ | 7 あなたと親と子供（三世代同居） |
| 4 あなたと親（二世代同居） | 8 その他（具体的に：) |

問7 この半年ぐらいいの間で、心身の状態に変化がありましたか。(1)～(11)のそれぞれについて、どのように変化しましたかを1つずつお答えください。

※ 選択肢の中には、あなたの状態にそぐわないものもあるかもしれませんが、調査結果の分析に必要なため、介護保険サービスを利用されている高齢者の方と共通した質問内容となっておりますのでご了承ください。

(1) 外出の回数についてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 変化なし
(2) 人としやべることについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 変化なし
(3) 寝つきや眠りの深さについてはどうですか	1 よくなった	2 悪くなった	3 変化なし
(4) 体重の増減についてはどうですか	1 増えた	2 減った	3 変化なし
(5) 活動意欲についてはどうですか	1 意欲が出てきた	2 意欲が低下した	3 変化なし
(6) 身の回りのこと（片付けなど）についてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできるなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(7) 歩くことについてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできるなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(8) 起き上がることについてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできるなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(9) 最近の出来事を思い出せないことについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 以前からない又は変化なし
(10) 食べ物を噛むことについてはどうですか	1 うまく噛めるようになった	2 うまく噛めなくなった	3 以前から噛める又は変化なし
(11) 不意に足がもれることについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 以前からない又は変化なし

問8 あなたの日ごろの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 とても健康だと思う | 4 健康ではないと思う |
| 2 まあ健康だと思う | 5 どちらとも言えない |
| 3 あまり健康ではないと思う | |

問9 ふだんの生活のご様子についてお答えください。(1)～(13)のそれぞれについて、「1 はい」「2 いいえ」のどちらか1つをお答えください。

(1) バスや電車を使って、ひとりで外出ができますか	1 はい	2 いいえ
(2) 日用品の買い物ができますか	1 はい	2 いいえ
(3) 自分で食事の用意ができますか	1 はい	2 いいえ
(4) 請求書の支払いができますか	1 はい	2 いいえ
(5) 銀行預金・郵便貯金の出し入れができますか	1 はい	2 いいえ
(6) 税金関係の申請書などの書類が書けますか	1 はい	2 いいえ
(7) 新聞を読んでいますか	1 はい	2 いいえ
(8) 本や雑誌を読んでいますか	1 はい	2 いいえ
(9) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1 はい	2 いいえ
(10) 友人の家を前ねることがありますか	1 はい	2 いいえ
(11) 家族や友人の相談にのることがありますか	1 はい	2 いいえ
(12) 病人を見舞うことができますか	1 はい	2 いいえ
(13) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1 はい	2 いいえ

問 18 あなたが、急病などにより入院しなければならぬ場合、どうしますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族や親せきに連絡して対応してもらう
- 2 かかりつけの医師に連絡して対応してもらう
- 3 できるだけ隣近所に手助けを求め
- 4 民生委員や老人福祉員、町内会の役員に対応してもらう
- 5 福祉事務所に連絡して対応してもらう
- 6 消防(救急)に連絡して対応してもらう
- 7 その他(具体的に:)
- 8 付き合いが少ないので、連絡する人がいない

問 19 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できるところはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親類
- 2 隣近所の人
- 3 知人・友人
- 4 民生委員や老人福祉員
- 5 かかりつけの医師
- 6 ケアマネジャー(介護支援専門員)
- 7 地域包括支援センター
- 8 京都市長寿すこやかセンター
- 9 福祉事務所
- 10 社会福祉協議会
- 11 その他(具体的に:)
- 12 特にない

問 20 あなたは、あなたの地域の町内会長(自治会長)の名前及び顔を両方とも知っていますか。(○は1つ)

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 21 あなたは、あなたの地域の民生委員の名前及び顔を両方とも知っていますか。(○は1つ)

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 22 あなたは、あなたの地域の老人福祉員の名前及び顔を両方とも知っていますか。(○は1つ)

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 23 あなたは現在、どのような活動に生きがいを感じますか。次の中からあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 趣味や娯楽のサークル活動
- 2 学習や教養などを身につける活動
- 3 健康づくりやスポーツ活動
- 4 地域の団体や行事への参加
- 5 社会奉仕活動
- 6 若い世代との交流
- 7 旅行
- 8 その他(具体的に:)
- 9 特にない

問 24 あなたはふだん、仕事、買い物、散歩、通院、趣味活動などでのくらしい外出していますか。(○は1つ)

- 1 毎日
- 2 週に5～6日
- 3 週に3～4日
- 4 週に1～2日
- 5 月に1～3日
- 6 ほとんど外出しない

問 25 あなたは日ごろ、ご自分の心身の質化(足腰のおとろえ、氣力がわかず何もしたくなくなるなど)に氣を配り、早目に改善しておられますか。(○は1つ)

- 1 日ごろからよく氣をつけて、改善に取り組んでいる
- 2 氣をつけてはいるが、適切に対応できてはいるかわからない
- 3 あまり氣をつけていない
- 4 まったく氣をつけていない

問 26 介護予防とは、元気な高齢者になるべく要介護状態にならないように、そして、介護が必要な人も、それ以上悪化させないようにする取組です。
このことについて、あなたはご存知でしたか。(○は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 ある程度は知っている
- 3 聞いたことはある
- 4 まったく知らない

※ 介護予防とは、具体的に足などの筋力低下や低栄養、食べ物を噛んだり飲んだりする口腔機能の低下、閉じこもり、認知症・うつなどの症状を早期に発見し対応することを書きます。

問 27 あなたは日ごろ、病気の予防や健康づくり、介護予防に関する情報や助言を主にどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 孫
- 4 その他の家族
- 5 健康づくりのグループなどの仲間
- 6 地域包括支援センター
- 7 京都市長寿すこやかセンター
- 8 老人福祉センター
- 9 健康すこやか学校
- 10 医師・看護師
- 11 歯科医師
- 12 薬局(薬剤師)
- 13 保健所
- 14 福祉事務所
- 15 新聞・テレビ
- 16 書籍・雑誌
- 17 その他(具体的に)
- 18 特になし

問 28 あなたは、下記の病気の予防や健康づくり、老化予防のための取組について、現在あるいは今後どのように考えていますか。(1)～(16)のそれぞれについて、1つずつお答えください。

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない
(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る	1	2	3	4
(2) ふだんの生活の中で、意識的に残った運動などをする	1	2	3	4
(3) 読書や計算など、ふだんから頭をよく使うようにする	1	2	3	4
(4) 肥満や栄養不足などにならないよう、栄養バランスを考えた食事をとる	1	2	3	4
(5) 歯磨きを毎日おこなう	1	2	3	4
(6) バランスのとれた食生活、栄養改善などに関する相談や地域の教室に参加する	1	2	3	4
(7) 食べることとお口の機能低下の予防に関する相談や地域での教室に参加する	1	2	3	4
(8) 転倒や骨折予防のための筋力向上をめざした地域での教室に参加する	1	2	3	4
(9) 定期的に健康診断を受診する	1	2	3	4
(10) 定期的にがん検診を受診する	1	2	3	4
(11) 定期的に歯科検診を受診する	1	2	3	4
(12) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に参加する	1	2	3	4
(13) 若い世代や子どもなどと交流する場に参加する	1	2	3	4
(14) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する	1	2	3	4
(15) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする	1	2	3	4
(16) 収入を得る仕事をする	1	2	3	4

問 29 もし、あなたが介護や支援などが必要となった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(〇は1つ)

- 1 主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい
- 2 主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい
- 3 老人保健施設(※1)に入所したい
- 4 療養病棟(※2)などに入所したい
- 5 特別養護老人ホーム(※3)に入所したい
- 6 グループホーム(※4)に入所したい
- 7 養護老人ホーム(※5)に入所したい
- 8 ケアハウス(※6)に入所したい
- 9 有料老人ホーム(※7)に入所したい
- 10 その他(具体的に:)
- 11 わからない

【「1」に〇をつけた方におたずねします。】
 訪問 あなたは、自宅で在宅福祉サービスを利用しながら暮らしていく場合、主にどのようなサービスを利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 ホームヘルプ・デイサービス・ショートステイなどの介護保険サービス
- 2 配食サービス・緊急通報システム(あんしんネット119)などの高齢者福祉サービス
- 3 小規模多機能型居宅介護(※8)や夜間対応型訪問介護(※9)など、住み慣れた地域で利用できるサービス
- 4 その他(具体的に:)

※1 老人保健施設: 医学的管理の下での介護、看護、機能訓練、その他必要な医療などを行い、家庭での生活に戻るよう支援する施設
 ※2 療養病棟: 医師の管理が必要な方に、看護、医学的管理下での介護、その他必要な医療などを提供する介護体制が整った施設
 ※3 特別養護老人ホーム: 日常生活で常に介護が必要で、在宅での介護が困難な方に、日常生活の介護、健康管理を行う施設
 ※4 グループホーム: 少人数の認知症の高齢者がそれぞれ個室を持ち、家庭的な雰囲気の中で介護職員の仕事を受けながら共同生活する施設
 ※5 養護老人ホーム: 65歳以上の方で、看護上の理由及び経済上の理由で居宅において生活できない場合に入所できる施設
 ※6 ケアハウス: 居宅での生活が困難な60歳以上のひとり暮らしや高齢者夫婦のみ世帯などが入居でき、入浴・食事等の提供を受けながら生活する施設
 ※7 有料老人ホーム: 高齢者を対象とした住宅に、食事などのサービス機能が付いた施設
 ※8 小規模多機能型居宅介護: 通いを中心として、介護が必要な人の状態に応じ、随時訪問や泊まりを組み合わせてサービスを提供し、介護度が中重度になっても在宅生活が継続できるよう支援するサービス
 ※9 夜間対応型訪問介護: 24時間安心して在宅で生活できるよう、夜間の定期的な巡回訪問や、利用者からの連絡に応じた随時訪問を組み合わせた訪問介護サービス

問 30 では、どのような支援が身近であれば、自宅での生活を続けていけると思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること
- 2 食事を配達し安否確認をしてもらえること
- 3 入浴やトイレなどを介助してもらえること
- 4 夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること
- 5 自宅の近くで「通い」や「訪問」「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること
- 6 家賃負担が軽減されること
- 7 契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること
- 8 病院まで送り迎えしてもらえること
- 9 自宅に来てくれる医師や看護師がいること
- 10 外出時に介助してくれる人がいること
- 11 住宅を改修するための支援を受けられること
- 12 日中の活動や交流できる場があること
- 13 気候に相談できる窓口が身近にあること
- 14 自宅においても必要な情報が得られること
- 15 隣近所の人が互いに声かけや見守りを行うこと
- 16 地域での見回りなど、防犯対策がしっかりしていること
- 17 地域の災害時の対応がしっかりしていること
- 18 悪質商法など高齢者を狙った犯罪の被害から守られること
- 19 その他(具体的に:)
- 20 特になし

問 31 介護に必要となる費用の一部（約 19%）は、第 1 号被保険者（65 歳以上）が所得に応じて負担する保険料でまかなうことになっております。現在の所得段階別保険料は次の表のとおりですが、この設定方法などについて、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。

なお、制度の仕組みとして、低所得層（第 1 段階から第 3 段階）の保険料を軽減すれば、それ以外の方の保険料が増えることとなります。（○は 1 つ）

- 1 このままの設定でよい
- 2 このままの設定でよいが、高齢者全体の保険料を一律に少しだけ上げて、その財源で困窮している方の保険料を下げる
- 3 所得段階に応じて細かな設定をし、高所得層の保険料を上げて、その財源で低所得層の保険料を下げる
- 4 その他（具体的に：)
- 5 わからない

【参考】京都市における現在の第 1 号被保険者保険料

所得段階区分	介護保険料月額	
	設定の考え方	(月額)
第 1 段階	● 本人が生活保護を申請している場合 ● 本人が老齢厚生年金を受給し、本人及びすべての世帯員が市民税非課税の場合	基準額 28,560 円 (2,380 円) ×0.5
第 2 段階	● 本人及びすべての世帯員が市民税非課税であって、〔前年の合計所得金額＋前年中の課税年金収入額〕≤80 万円/年を満たす場合	基準額 28,560 円 (2,380 円) ×0.5
第 3 段階	● 本人及びすべての世帯員が市民税非課税であって、第 1 段階・第 2 段階以外の場合	基準額 42,840 円 (3,570 円) ×0.75
第 4 段階	● 本人が市民税非課税で、世帯員の中に市民税（減免前）課税者がいる場合	基準額 57,120 円 (4,760 円)
第 5 段階	1 2.5 万円以下	基準額 62,832 円 (5,236 円) ×1.1
第 6 段階	2 0.0 万円未満	基準額 71,400 円 (5,950 円) ×1.25
第 7 段階	前年の合計所得金額 4 0.0 万円未満	基準額 85,680 円 (7,140 円) ×1.5
第 8 段階	7 0.0 万円未満	基準額 99,960 円 (8,330 円) ×1.75
第 9 段階	7 0.0 万円以上	基準額 114,240 円 (9,520 円) ×2.0

※ 平成 19 年度の市民税が税制改正に伴う経過措置対象である方と同じ増徴であるため第 4 段階となった方は、減免額と措置が適用されるため、平成 19 年度は、上記の表よりも低い保険料額になる場合があります。

問 32 介護保険制度では、施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの利用者の割合が高いほど、また、利用者 1 人当たりの利用される介護サービス量が多いうほど、介護保険料が高くなります。

今後の保険料のあり方について、あなたの考えに最も近いのはどれですか。

（○は 1 つ）

- 1 保険料がある程度高くなっても、施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの量をもっと充実させるべき
- 2 施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの量を抑えて、保険料を上げない方がよい
- 3 その他（具体的に：)
- 4 わからない

【参考】高齢者 1 人当たりの介護サービスに必要な費用と介護保険料基準額

事業計画運営期間	計画で算込んだ介護サービスに必要な費用	介護保険料（基準額）
第 1 期 (平成 12 年度～14 年度)	約 208,000 円/年	35,496 円/年 (2,958 円/月)
第 2 期 (平成 15 年度～17 年度)	約 255,700 円/年	46,392 円/年 (3,866 円/月)
第 3 期 (平成 18 年度～20 年度)	約 272,400 円/年	57,120 円/年 (4,760 円/月)

問 33 介護サービスを利用する際には、利用料として 1 割負担が必要ですが、これについて、あなたの考えに最も近いのは次のうちどれですか。（○は 1 つ）

- 1 サービスを利用してはいるのだから、1 割の負担は当然である
- 2 1 割負担は重い、やむを得ない
- 3 1 割負担は軽い
- 4 1 割負担は重い
- 5 その他（具体的に：)
- 6 わからない

問 34 高齢化の進展に伴い、認知症の高齢者が増加すると書われています。今後、認知症高齢者対策として、どのようなことが特に必要だとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 認知症に関する知識の普及・啓発
- 2 認知症の予防、治療、介護のあり方などに関する知識の普及・啓発
- 3 認知症に関する身近な相談機関の充実
- 4 認知症高齢者を介護する施設や通所サービス事業所等の充実
- 5 認知症を診断できる専門医の充実など医療体制の整備
- 6 認知症高齢者の家族を支援するためのサービスの充実
- 7 成年後見制度の普及・啓発
- 8 認知症高齢者を狙った詐欺や悪徳商法の被害防止
- 9 地震や台風などの自然災害、火事などから安全に避難するための援助体制の確立
- 10 安否確認や見守り活動など近隣住民が協力した地域福祉活動の推進
- 11 その他(具体的に:)
- 12 わからない

※「認知症」とは、脳や身体の疾患を原因として、記憶・判断力などの障害がおこり、普通の社会生活が送れなくなった状態を言います。

本市の認知症高齢者は、平成26年度には現在の1.5倍に当たる約3万6千人になると推計しています。

問 35 あなたは、高齢者虐待の防止のために特に重要な取組は、次のうちのどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 虐待防止のための住民への啓発活動
- 2 地域における最も身近な相談窓口である地域包括支援センターの周知
- 3 虐待発見に対する通報の義務化や通報者を保護する体制の整備
- 4 特別養護老人ホームや医療機関等と連携し、虐待を受けた高齢者を円滑に保護するための受け皿の充実
- 5 家族や親族などの養護者及び介護施設従事者に対する支援
- 6 安否確認や見守り活動など近隣住民が協力した地域福祉活動の体制づくり
- 7 その他(具体的に:)

※「高齢者虐待」には、暴力的な行為(身体的虐待)だけでなく、暴言や無視、いやがらせ(心理的虐待)や、必要な介護サービスの利用をさせない、世話をしないなどの行為(介護・世話を放棄・放任)、勝手に高齢者の資産を使ってしまうなどの行為(経済的虐待)などが含まれます。

問 36 高齢者保健福祉社について、今後どのような施策の充実を望まれますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 在宅福祉サービスの充実
- 2 認知症高齢者や一人暮らし高齢者が在宅生活を継続できるよう、住み慣れた地域で利用できるサービスの充実
- 3 施設サービスの充実
- 4 病気の予防や健康づくり、老化の予防の支援
- 5 高齢者が働く場の確保や就職のあっせん
- 6 高齢者が社会参加しやすい働きかけ
- 7 高齢者の学習や文化、スポーツ活動への支援
- 8 高齢者と若い世代の交流の場づくり
- 9 建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり
- 10 高齢者向け住宅の充実
- 11 気軽に利用できる相談窓口の充実
- 12 その他(具体的に:)

問 37 市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについてのご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき、ありがとうございます。